標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会 第 34 回 (S1SC34) 議事録

日 時:2025年4月23日(水) 13:30~14:30

場 所:オンライン会議にて開催

出席者(敬称略):

委員:天谷主查(JAEA)、牟田副主查(阪大)、成川幹事(東大)、北島委員(電中研),

大石委員(阪大)、河村委員(電中研)、本谷委員(東芝 ESS)、福田委員(MHI)、

安田委員(日立GE)、草ヶ谷委員(GNF-J)、笹川委員(NFI)、

田伏委員(関電:代理宇多)、勝部委員(原電)、計13名

(欠席委員4名:大川委員(電通大)、鈴木委員(JANSI)、黒崎委員(京大)、鶴田委員(東電HD))

常時参加者:阿部(東大)、根本、(JAEA)、久保(NFI)、大脇(東芝ESS)、佐藤(MHI)、中西(原電)、

北野、金子(NRA)、中山(日立GE)、今村(NEL) 計13名

オブザーバ:村上(MHI)、計1名

全29名出席(オブザーバを除く)

配付資料:

S1SC34-1 第 33 回分科会議事録 (案)

S1SC34-2 人事

S1SC34-3 「原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施標準」関係

S1SC34-3-1 システム安全専門部会の書面投票(再投票)の結果

S1SC34-3-2 第 68/70 回システム安全専門部会のコメント対応表

S1SC34-3-3 標準修正案

S1SC34-3-4 標準委員会 PP 説明資料

S1SC34-4 技術レポート「発電用軽水型原子炉の新設計燃料の安全性を確認する考 え方」の進捗状況について

S1SC34 参考-1 第70回システム安全専門部会 議事録案

1. 出席者確認

天谷主査によって出席者が確認された。委員出席者数は 13 名であり、分科会の定足数 (委員数 17 名の 2/3 以上) を満たすことが確認された。

2. 人事について (S1SC34-2、S1SC34 参考-1)

今回、新たな人事は特になし。なお、S1SC34 参考-1により、第 70 回システム安全専門部会に

て、前回の第 33 回炉心燃料分科会での分科会3役の退任と新3役の指名についての確認、並びに成川分科会委員の承認がなされ、正式に炉心燃料分科会の新3役が決まったことが、MHI 福田委員から説明あった。

3. 第33回分科会議事録(案)の確認 (S1SC34-1)

MHI 福田委員より、第 33 回議事録(案)が報告された。当該議事録は、分科会委員には 事前送付されており、すでに確認されており、分科会終了時点で、(案)をとって確定した。

4. LUA 実施標準 システム安全専門部会コメントへの対応について (LUA 検討 WG) (S1SC34-3-1、S1SC34-3-2、S1SC34-3-3、S1SC34-3-4)

電中研・北島委員より、第70回システム安全専門部会での再投票結果について以下の旨の説明があった。

第 68 回システム安全専門部会後の書面投票で、委員から多数のコメントが寄せられ、そのうち一票が意見付保留あった。これに対して第 70 回システム安全専門部会でコメントを反映した修正案が提示されたが、変更部分が多岐にわたり本文にも及んでいることから意見付保留は反対票に転じ、再投票が行われた。再投票では専門部会委員から表現の見直しに係るコメントが寄せられたが、反対意見はなかった。

上記を踏まえ、コメント対応を反映した標準案が炉心燃料分科会にて審議され、第71回システム安全専門部会に報告することが了承された。

5. ATF 技術レポートの進捗状況について (ATF 検討 WG) (S1SC34-4)

資料 S1SC34-4 に基づいて、MHI 佐藤常時参加者から、ATF 技術レポートの策定の状況について説明があり、構成見直し案と今後の作業計画が共有された。次回分科会に向け、ワーキングでの検討を加速する旨、説明あった。

6. その他

MHI 福田委員より、阿部前主査と分科会新3役との協議の結果として、2025年度の炉心燃料分科会の主要な活動は、LUA標準に続くATF技術レポートの策定に注力し、炉心燃料の安全設計に関する技術レポートの2回目の改訂は、2026年度から各種の作業を開始していく旨、紹介され、ご意見を確認したところ、特に異論等はなかった。

また阿部常時参加者より、本年の原子力学会秋の大会にて、核燃料部会からの企画セッションとして、ATF燃料の検討、燃料安全高度化ロードマップの更新等の活動を俯瞰して、燃料の将来像を示すテーマの講演を行っていきたい旨、ご発言あり、分科会関係者から異論なく、賛同が示された。

以上